国内トップレベルの智恵に触れてみませんか　～県内大学の研究成果のご紹介～

いきいき県民カレッジ登録講座

「自然と共に生きる技術 ～長岡技術科学大学の挑戦～」

日　時：平成２４年１１月１５日（木）１４時～１７時１０分
場　所：新潟県立生涯学習推進センター１階ホール（新潟県立図書館複合施設）　※収容人数約１８０名
主　催：国立大学法人長岡技術科学大学
共　催：新潟県立図書館、財団法人にいがた産業創造機構

開催趣旨

新潟県民に本学の教育研究活動を知っていただく機会として、県立図書館連携事業による長岡技術科学大学講演会を実施します。

県民の皆様と関連の深い身近な自然に関する技術科学を取り上げ、３人の教員が講演を行い、最後に副学長がまとめと大学の紹介を行います。

参加費：無料　※どなたでもご参加いただけます

日程

「世界と新潟の水環境、および水浄化技術」 山口　隆司　教授	質疑・休憩	「大量の雪をエネルギー源として活かす」 上村　靖司　准教授	質疑・休憩	「野生動物との共存をめざすための工学技術」 山本　麻希　助教	質疑	「長岡技術科学大学の概要と大学の取組」 斎藤　秀俊　副学長
14時00分	14時45分	15時00分	15時45分	16時00分	16時45分	16時55分	17時10分

講演

「世界と新潟の水環境、および水浄化技術」

環境・建設系教授
山口　隆司

水は、人と動植物が生きていくためには欠かすことのできないものです。講演では、世界と日本の水環境の現状について写真で報告します。本学の水浄化技術開発の挑戦として、技術の国際展開（学生の奮闘）、および東京スカイツリーのすみだ水族館に導入した水再生技術などについて紹介します。

講師自己紹介

日本、アジア、中南米を主な対象として水環境保全技術を開発しています。また、環境を保全する未知な微生物の発見に取り組んでいます。近年、食料確保の観点で、海洋生物飼育に関わる水再生技術も開発しています。

最近のニュース等で取り上げられた主な内容

○2012/9/13　NHK新潟ニュース610　水環境浄化技術の研究紹介
○2012/5/10　日本テレビ「NEWS ZERO」　海水再生システム
○2012/5/3　読売新聞水族館の水　入れ替え不要　スカイツリー浄化システム導入
○2012/3/28　新潟日報　海水浄化システム「すみだ水族館へ」長岡技科大など開発
○2012/3/28　日本経済新聞　微生物使い海水浄化 長岡技科大 水族館向けシステム

機械系准教授
上村　靖司

「大量の雪をエネルギー源として活かす」

世界的にも類を見ない豪雪地、新潟。大量に降る雪を保存し、夏に冷熱源として使うことは昔から当たり前のことでした。時代の変化で一時衰退した雪利用ですが、近年、エコな新技術として再び注目を浴びています。講演では、最近の動向や今後の展開の見通しを紹介します。

講師自己紹介

研究室では、雪や氷を利用した新しい冷房技術や雪害を軽減する技術など、雪国の課題に幅広く取り組んでいます。社会活動として、「越後雪かき道場」など地域づくりの市民活動などにも幅広く参画しています。

最近のニュース等で取り上げられた主な内容

○2012/2/2～2012/4/18　新潟日報（夕刊）コラム『晴雨計』（全13回）
○2012/2/17　朝日新聞　雪かき道場門下600人～師範役は住民、実技で級認定
○2012/2/9　ＮＨＫクローズアップ現代「雪から高齢者を救え～相次ぐ除雪事故死～」
○2011/9/24　新潟日報　東北３市町復興計画～中越の教訓 大震災に
○2011/9/10　新潟日報　【長岡発 新エネルギー考】
氷通し送風 冷房効果～生活様式の見直しも促す

生物系助教
山本　麻希

「野生動物との共存をめざすための工学技術」

近年、里山の荒廃や中山間地の過疎、高齢化などが原因となり、サル、イノシシなどの大型野生動物が集落に出没し、大きな社会問題となっています。労働力が不足する中山間地を支援するために工学技術を野生動物対策に活かす方法について御紹介します。

講師自己紹介

カワウ、オオミズナギドリ、サル、ツキノワグマ、イノシシの生態調査や個体管理、被害対策に関する研究を行っています。昨年より「新潟ワイルドライフリサーチ」という団体を立ち上げ、中山間地における野生動物被害対策の普及啓発活動や支援も行っています。

最近のニュース等で取り上げられた主な内容

○2012/9/27　テレビ新潟　夕方ワイド新潟一番　クマの学習放獣について
○2012/9/16　朝日新聞　ブナ不作　クマにご注意
○2012/9/12　日本経済新聞　ツキノワグマ大量出没注意
○2012/7/24　新潟日報　サル、クマの被害防げ

副学長
斎藤　秀俊

「長岡技術科学大学の取組と大学の概要について」

副学長自己紹介

大学の広報を担当しています。専門は物質・材料科学ですが、自然災害科学や水難救助学（着衣泳）にも取り組んでいます。技術開発センター長でもありますので、大学の産学官連携に関する仕事もしています。

最近のニュース等で取り上げられた主な内容

○2012/6/14　NHK総合　水難
○2012/6/7　毎日新聞 ブロックのワナ　危険な「浅瀬」

参加申込

参加を希望される方は、本学へのメール申込、本学へのはがき申込、本学へのＦＡＸ申込、県立図書館ホームページ「各種申込み案内」、県立図書館総合案内カウンターのいずれかにより、申し込みをしてください。

メール・はがき・ＦＡＸで申し込みをされる場合は、題名を「１１月１５日講演会申込」とし、①名前 ②住所 ③連絡先電話番号を記入してください。

入場整理券、受講票などは発行しませんので、当日会場に直接いらしてください。参加希望者が特に多い場合は入場いただけないことを事前にお知らせします。

【お問い合わせ】

長岡技術科学大学　企画・広報室　西山　村山　藤崎
住所　〒940-2188　長岡市上富岡町1603-1　ＦＡＸ　０２５８－４７－９０１０
電話　０２５８－４７－９００４、９２０９　E-mail skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp